

令和6年度組織改正等について

令和5年度第2回 資料1
戸田市行政改革推進本部会議
令和5年11月7日(火)

2 地域福祉及び健康政策の推進体制の強化に伴う改正

【組織改正の理由等】

高齢者福祉や障害福祉など、各分野で福祉サービスを展開している一方で、近年、社会的孤立やケアラーなどの分野別支援だけでは対応が困難なケースが増えており、他部局との横断的な取組や連携した取組の推進が求められている。また、行政とともに地域福祉の推進の主体である社会福祉協議会との連携もさらに必要となってきた。さらに、急激な高齢化が予想される中、高齢者福祉をはじめとした福祉施策の企画調整や地域における健康づくりが重要になることから、地域福祉の推進及び健康づくりの一体的な取組を進めるための組織体制が必要になる。

【組織改正の概要】

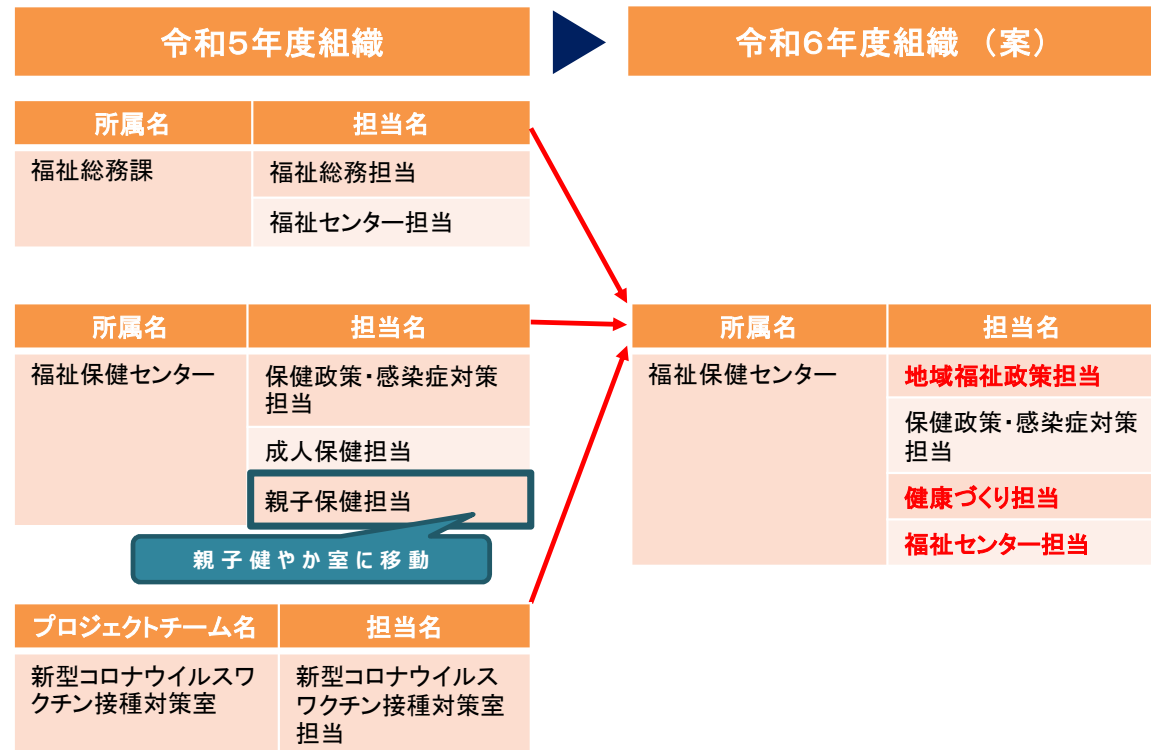
福祉総務課が所掌する事務を福祉保健センターに移管し、「福祉総務担当」を「地域福祉政策担当」とする。なお、福祉総務課の一部事務（自立支援ホーム、福祉総合相談窓口）は、生活支援課に移管する。

また、福祉保健センターの現行担当のうち「成人保健担当」については、健康に関する業務を年代問わず実施していることから、名称を「健康づくり担当」とする。

なお、新型コロナウイルスワクチン接種対策室（プロジェクトチーム）については、事務を縮小し「保健政策・感染症対策担当」が引き継ぐものとする。

【組織改正による効果】

福祉保健センターにおいて地域福祉施策の舵取り機能を付与し、地域福祉の拠点とすることで、地域福祉の視点における保健施策の実施により、市民サービスの向上が図られる。



福祉保健センター
スマートウェルネスシティ推進プランに基づく事業の進捗状況

「関連分野」における記号の意味について
 ①＝健康意識 ②＝運動 ③＝飲酒 ④＝喫煙
 ㉠＝食に対する意識 ㉡＝健康を支える食 ㉢＝心をつなぐ食 ㉣＝循環する食
 歯＝歯の健康 ころ＝休養とこころの健康 がん＝がん

		令和5年度の事業実施状況 (第3次戸田市健康増進計画・第2次戸田市食育推進計画)				令和6年度以降の実施状況			
事業名	内容	関連分野 (※記号の意味は上部参照)	実施区分 1.新規 2.継続 3.その他(見直し、廃止)	令和5年度 実施状況・実績	目標達成に対する 課題		令和6年度 実施状況	令和7年度 実施予定	特記事項等
1 戸田市健康なまちづくり推進庁内会議	市民が健康で幸せに生活できる「健康なまちづくり」の推進	① ㉠	2.継続	スマートウェルネスシティ推進プランを策定するため、通常より多い年4回の開催をした。	組織改正等により所管業務に変更が生じているため、庁内会議の委員の見直しが必要	実施状況	継続	継続予定	令和6年度末にSWC推進プランを策定したことから、令和6年度の事業評価等について、令和7年度の会議の中で報告を実施する予定としている。
2 とだウエルネスマイレージ事業	健康寿命の延伸へつなげることを目的とし、歩数等に応じて参加者へポイントを付与し、そのポイント数に応じた賞品等を提供する事業	① ②	2.継続	新規参加者596人	現アプリが終了になるため、新規参加者は減少している。次期新規アプリに円滑に移行できるよう周知啓発が必要。	実施状況	継続	継続予定	令和6年度から新たに「ALKOOマイレージ」アプリを使用した事業へと移行。アプリの移行に関する周知を図るとともに、TODA PAYと連携した新規登録者キャンペーンを実施し、登録者の確保に務めた。
3 健康福祉の杜まつり	健康に関する知識等の普及を目的としたイベント 受動喫煙防止のために肺年齢測定、食への興味・関心向上のために「災害時の食事」の展示やクイズ、感染症予防のために「手洗いチェック」体験を実施	① ② ③ ④ ㉠ ㉡ ㉢ ㉣ がん 歯	2.継続	参加・来場者数、約1,650人 (推定内訳：大人900人、子ども450人、参加団体関係者等300人)	会場レイアウトの改善が必要である。 来場者からの問い合わせにワンストップ対応できるように、主催3団体が連携して総合案内をしていく必要がある。	実施状況	継続	継続予定	
4 キッズ健幸アンバサダー	小学校の体育の授業で、児童がオリンピック・パラリンピックの凄さや技術に触れ、健康維持におけるスポーツの大切さや楽しさを学び、その後、児童がキッズアンバサダー(インフルエンサー)として、体験した内容を家族や地域の高齢者に伝え、一緒に体を動かすことで、市民のスポーツ実施率の向上や健康増進を図る。	① ②	3.その他(見直し)	養成講座参加人数588人 介護予防事業参加高齢者：103名	国の補助金が不採択となったため、予算を縮小しての実施に向け、実施方法の検討・見直しが必要。	実施状況	完了	—	令和6年9月～11月に市内小学校6校において実施し、約560名の生徒に講座を実施した。また、事業を開始した令和4年度からの3年間では、市内小学校計12校において約1,270名の生徒に講座を実施した。
5 【新規】健幸アンバサダー	包括連携協定企業やとだSDGsパートナー企業の従業員、市民や市職員などを対象に「健幸アンバサダー養成講座」を実施し、受講修了者が健幸アンバサダーとして健康情報などをロコミにより広げていき、これまでの情報発信よりも幅広く、より近い位置で健康無関心層に対してアプローチを行っていくことで、市民全体のヘルスリテラシーの向上と、将来的な介護予防や健康寿命の延伸を図る。	① ②	—	—	—	実施状況	—	新規	令和7年度からの本格実施に先立ち、令和6年度は、令和7年1月28日と29日の2日間に渡り、モデル事業として講座を実施した。
6 【新規】健康寿命及び健康意識等実態調査に基づく解析事業	戸田市民の健康寿命が短い要因を解析し、エビデンスに基づいた健康づくり事業の構築・実施へと繋げ、長期的には健康寿命の延伸を図っていく。まずは、要因解析のために必要な市民への健康意識調査を実施し、回答の集計と解析を行っていく。	① ②	—	—	—	実施状況	新規	継続	令和7年度については、埼玉県立大学と業務委託契約を締結し、健康意識調査の集計結果を基にした解析を実施していく予定である。
7 成人歯科健診	歯周病、歯の喪失予防を目的とした健診	① ④ ㉠ ㉡ 歯	2.継続	実施期間：R5.9～R5.11 受診者：896名(受診率9.2%)	—	実施状況	継続	継続予定	令和6年度から健康増進法の改正に基づき、対象年齢(20歳)を拡大して実施した。

福祉保健センター
スマートウェルネスシティ推進プランに基づく事業の進捗状況

「関連分野」における記号の意味について
 ①=健康意識 ②=運動 ③=飲酒 ④=喫煙
 ㉠=食に対する意識 ㉡=健康を支える食 ㉢=心をつなぐ食 ㉣=循環する食
 歯=歯の健康 ころこ=休養とこころの健康 がん=がん

							令和5年度の事業実施状況 (第3次戸田市健康増進計画・第2次戸田市食育推進計画)		令和6年度以降の実施状況	
事業名	内容	関連分野 (※記号の意味は上部参照)	実施区分 1.新規 2.継続 3.その他(見直し、廃止)	令和5年度 実施状況・実績	目標達成に対する 課題		令和6年度 実施状況	令和7年度 実施予定	特記事項等	
8 30歳代健康診査	30歳代の健診	①	2.継続	実施期間：R5.6月下旬～R5.10月末 受診者99名(定員：300名、申込者：127名)	—	実施状況	継続	継続予定		
9 生活保護受給者の健康診査	生活保護受給者の健診	①	2.継続	実施期間：R5.6月下旬～R5.10月末 受診者182名(対象者：1,655名、個別勧奨通知：1,655名)	—	実施状況	継続	継続予定		
10 保険異動者の健康診査	保険異動者の健診	①	2.継続	実施期間：R5.6月下旬～R5.10月末 受診者11名(申込者数：14名)	—	実施状況	継続	継続予定		
11 肝炎ウイルス(B型・C型)検診	肝炎ウイルスB型・C型の検診	①	2.継続	実施期間：R5.6月下旬～R5.10月末 受診者147名 4月1日時点で40歳男女にクーポンを送付	—	実施状況	継続	継続予定		
12 がん検診	肺・胃・大腸・前立腺・乳・子宮がんの検診	① がん	2.継続	実施期間：R5.6月中旬～R6.2月末 胃バリウム 1,961件 胃内視鏡 638件 肺 9,699件 大腸 6,726件 乳 3,092件 子宮 4,628件 前立腺 150件	—	実施状況	継続	継続予定	令和7年度から胃内視鏡検査の定員、対象年齢を拡大予定。 令和6年度まで定員：750名 60歳以上 令和7年度から定員：1,000名 50歳以上	
13 各種健診・検診フォロー	各種健診・検診の事後フォロー	①②③④ ㉠ ㉡ がん	2.継続	30代健康診査フォロー23人 生活保護受給者健診フォロー41名	—	実施状況	継続	継続予定		
14 がん啓発イベント	がんに関する知識の普及・啓発	①②③④ ㉢ がん	2.継続	健康福祉まつりで「がんクイズラリー」を実施し、608名参加	—	実施状況	継続	継続予定		
15 受動喫煙防止イベント	受動喫煙防止のための展示及び肺年齢測定	①④	2.継続	5月31日の世界禁煙デーに合わせて、市内公共施設11か所に受動喫煙防止啓発品1,100個を設置	—	実施状況	継続	継続予定	コロナ禍において中止していたイベントを令和6年度から再開し、パネル展示、公民連携業者による血管年齢測定を実施した。	
16 こころの健康講演会	精神疾患に関する正しい知識と理解及びメンタルヘルスケアに関する普及啓発講演会	①③ こころ	2.継続	1回実施。 市民17名参加	—	実施状況	継続	継続予定	令和6年度は、ひきこもり経験者を講師とし、ひきこもりに関する講演会を会場型及び配信で実施した。	
17 食育月間	6月の食育月間のイベント 朝食・野菜摂取の推進	① ㉠ ㉡	2.継続	本庁舎屋上に横断幕、2階ロビーに啓発パネルを設置。 公共施設等へのほり、toco/バスや保育所等にポスターを掲示し、広く市民に周知した。	—	実施状況	継続	継続予定	令和6年度は、朝食摂取の啓発として、食育講演会、親子朝ごはん料理教室及び朝ごはんレシピコンテストを実施。	

福祉保健センター
スマートウェルネスシティ推進プランに基づく事業の進捗状況

「関連分野」における記号の意味について
 ①=健康意識 ②=運動 ③=飲酒 ④=喫煙
 ①A=食に対する意識 ①B=健康を支える食 ①C=心をつなぐ食 ①D=循環する食
 歯=歯の健康 ころ=休養とこころの健康 がん=がん

令和5年度の事業実施状況 (第3次戸田市健康増進計画・第2次戸田市食育推進計画)						令和6年度以降の実施状況			
事業名	内容	関連分野 (※記号の意味は上部参照)	実施区分 1.新規 2.継続 3.その他(見直し、廃止)	令和5年度 実施状況・実績	目標達成に対する 課題	令和6年度 実施状況	令和7年度 実施予定	特記事項等	
18 産学官連携による健康福祉の杜まつりでの啓発	市民一人ひとりの「食」への興味・関心を高める	① ② ①A ①B	2.継続	本市と包括連携協定を締結している日本薬科大学と連携し、薬膳に関するパネルおよび物品の展示、レシピブックの配布、同大学の博士による質疑等を行い、広く市民等に食への啓発を実施した。	—	実施状況	継続	継続予定	令和5年度に作成・配布した薬膳レシピブックを令和6年度も配布した。
19 産学官連携によるすこやかTODA弁当の販売	市民一人ひとりの「食」への興味・関心を高める	① ② ①A ①B	2.継続	本市と包括連携協定を締結している女子栄養大学学生考案のすこやかTODA弁当を市内2店舗で販売し、広く市民等に食への啓発を実施した。	—	実施状況	継続	未定	令和6年度は、すこやかTODA弁当を市内1店舗、新たにすこやかTODA定食を市内1店舗で販売した。令和7年度は実施未定。
20 健康相談	健康・栄養・歯科など電話や面接相談	① ② ③ ④ ①A ①B ①C ①D ころ 歯 がん	2.継続	電話相談：31件 面接相談：4件	—	実施状況	継続	継続予定	令和6年度から、出前講座実施時に希望者に個別相談を実施した。
21 いきさわやか相談	口臭にポイントをおいて、歯周病予防の動機付けを目的とした歯科相談	① ④ 歯	2.継続	12回実施 利用者実人数：81名	—	実施状況	継続	継続予定	
22 すっきりボディ塾	メタボリックシンドロームの改善・予防教室 運動実技・調理実習	① ② ③ ④ ①A ①B	2.継続	1回実施 15人参加	—	実施状況	継続	継続予定	コロナ禍において中止していた調理実習を令和6年度から再開した。令和7年度は、参加者の中で希望者には「コバトン栄養健康アプリ」を登録してもらい、日々の体重や食生活等の記録をしてもらったうえで、保健師、管理栄養士等による継続支援を行う予定。
23 骨こつ教室	骨量測定、骨粗しょう症予防・歯周病予防の講話	① ② ⑧ 歯	2.継続	4回実施 146名参加	—	実施状況	継続	継続予定	
24 生活習慣改善教室	市民の健康づくりの一環として糖尿病、慢性腎臓病予防及び歯周病予防の知識の普及、啓発を行う	① ② ③ ④ ①A ①B 歯	2.継続	1回実施 対面教室とその内容を事前希望者にオンデマンド配信 52名参加(うち28名オンデマンド参加)	—	実施状況	継続	継続予定	
25 まちづくり出前講座	市民からの依頼に応じて、健康に関する知識等の普及を目的とした講座の実施	① ② ③ ④ ①A ①B ころ 歯	2.継続	22回実施 467名参加	—	実施状況	継続	継続予定	令和6年度から、出前講座実施時に希望者に個別相談を実施した。
26 歯科保健(依頼講座)	歯科保健に関する、知識の普及等の講座	① ⑧ 歯	2.継続	2か所で実施、41名参加	—	実施状況	継続	継続予定	

福祉保健センター
スマートウェルネスシティ推進プランに基づく事業の進捗状況

「関連分野」における記号の意味について
 ①=健康意識 ②=運動 ③=飲酒 ④=喫煙
 ㉠=食に対する意識 ㉡=健康を支える食 ㉢=心をつなぐ食 ㉣=循環する食
 歯=歯の健康 ころ=休養とこころの健康 がん=がん

		令和5年度の事業実施状況 (第3次戸田市健康増進計画・第2次戸田市食育推進計画)				令和6年度以降の実施状況				
事業名	内容	関連分野 (※記号の意味は上部参照)	実施区分 1.新規 2.継続 3.その他(見直し、廃止)	令和5年度 実施状況・実績	目標達成に対する 課題	実施 状況	令和6年度 実施状況	令和7年度 実施予定	特記事項等	
27	広報での周知	食・運動・こころ・歯など全分野において啓発を行う	①②③④ ㉠㉡㉢㉣ こころ 歯 がん	2.継続	広報への掲載・保健ガイドの作成・配付	—	実施 状況	継続	継続予定	
28	食育に関する市民活動支援	戸田市食育推進計画の11の目標指標・目標値に近づけられるよう、市民が自ら考え、行動することを支援する	㉠㉡㉢㉣	2.継続	市民会議の実施なし、市民会議メンバーに状況確認	—	実施 状況	継続	継続予定	令和6年度は、市民団体と連携して教室等を実施した。
29	【新規】親子運動教室	働き世代に運動習慣をつけてもらうため、小学生と保護者を対象とし、啓発を行う運動教室。体力測定、運動実技。	①②	—	—	—	実施 状況	新規	継続予定	令和6年度は、2回コースとして実施した。
30	【新規】禁煙チャレンジ教室	禁煙に興味のある人とその家族を対象にした教室。一酸化炭素濃度測定(COモニター)、血圧測定、口臭測定、ニコチン依存度チェック、講義(禁煙方法、食生活、歯科、運動等)グループワーク等を行う。2回で1コース。1回目参加後から3か月間「コバトン栄養健康アプリ」にて保健師、管理栄養士等による継続支援を行う。	①④	—	—	—	実施 状況		新規	
31	自殺対策事業	自殺予防に関する正しい知識の啓発や相談窓口等の情報発信	③ こころ	2.継続	9月の自殺対策週間と、3月の自殺対策月間に、公共施設にポスターの掲示、相談窓口周知カードの設置し、駅頭キャンペーンを実施した。また公用自転車・公用バイク・公用自動車へのステッカーの掲示、広報に記事を掲載、戸田市ホームページとソーシャルメディアへ情報を掲載、健康情報ステーションにチラシの設置とポスターを掲示した。	—	実施 状況	継続	継続予定	
32	こころの健康相談	こころの健康の不調や不安を抱える当事者及びその家族など周囲の方からの相談	② こころ	2.継続	精神相談件数：923件	—	実施 状況	継続	継続予定	精神保健福祉士や保健師が対応する相談の他、令和6年度から臨床心理士相談を開始した。
33	メンタルチェックシステム「こころの体温計」	インターネットで自身のこころの状態についてチェック入力することで、こころの健康状態を認識し、うつ病などの問題の予防行動、相談・受診行動を促す	③ こころ	2.継続	年間通じてシステムをホームページに掲載 R5年度アクセス数：23,725件	—	実施 状況	継続	継続予定	
34	教職員・市職員向けゲートキーパー研修	子どもの自殺予防を目的として、ゲートキーパーの役割を学ぶ	③ こころ	2.継続	教職員向けゲートキーパー研修を1回開催(47名参加) 市職員向けゲートキーパー研修を1回開催(73名参加)	—	実施 状況	継続	継続予定	令和6年度は、市職員向け研修をレベル別で2回実施した。

はじめよう“心に届く”健康情報伝達活動

健幸アンバサダー

生涯を通じて健やかに豊かで幸せな生活を送ることが出来る、
そんな「健幸」な日本をつくるため、私たち健幸アンバサダーは
“健康情報を大切な人に伝える伝道師（インフルエンサー）”
という新たな社会的役割を担っています。

自治体で、企業で、学校で・・・全国のあらゆるコミュニティで
仲間たちの活動がスタートしています。

生活の中で健康情報が自然に耳に入るよう
あらゆる場面において、口コミで健康情報をお伝えしています

家庭で



教育現場で



職場で



一緒にやりましょう



地域のコミュニティで



地域の皆さんの健康づくりの輪（WA）を広げていきます！

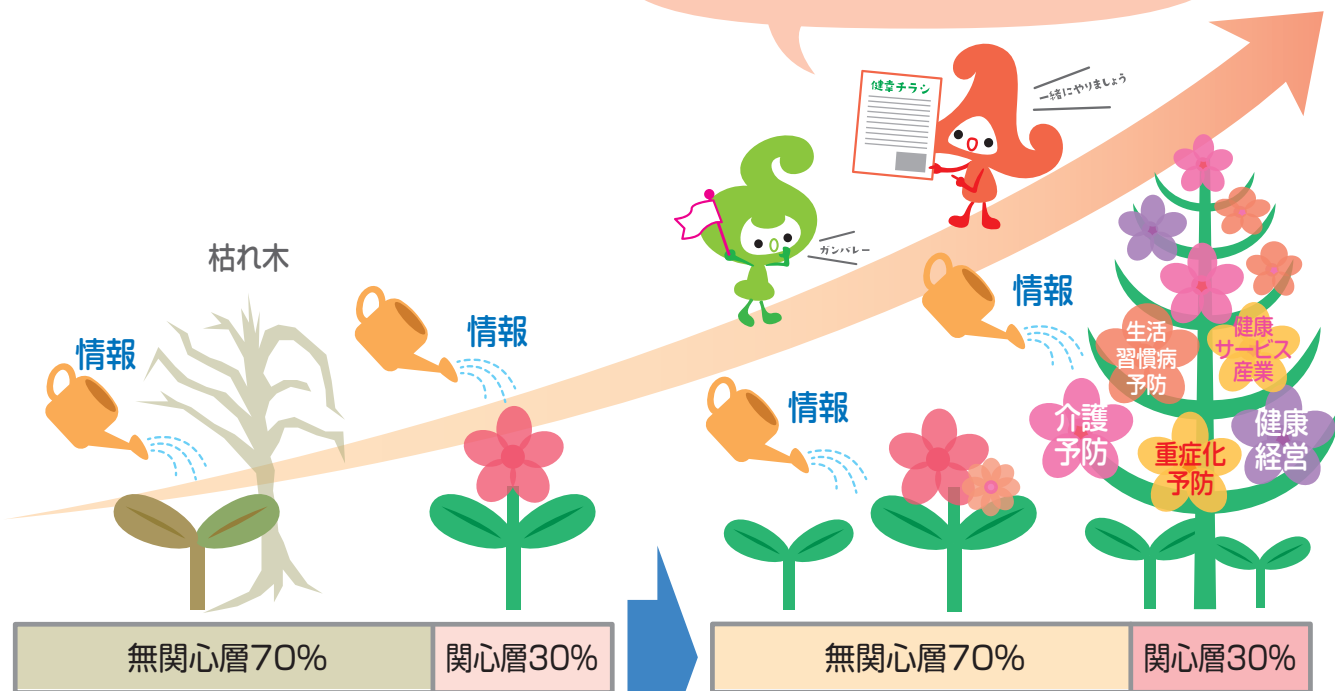


Smart
Wellness
Ambassador
健幸アンバサダー

大切な人への口コミで皆の心に花を咲かせる活動です

国民の7割は健康づくりに無関心であることが分かっています(久野ら,2010)

大切な人からの口コミなら
無関心な人も含め、皆の心に届く!!

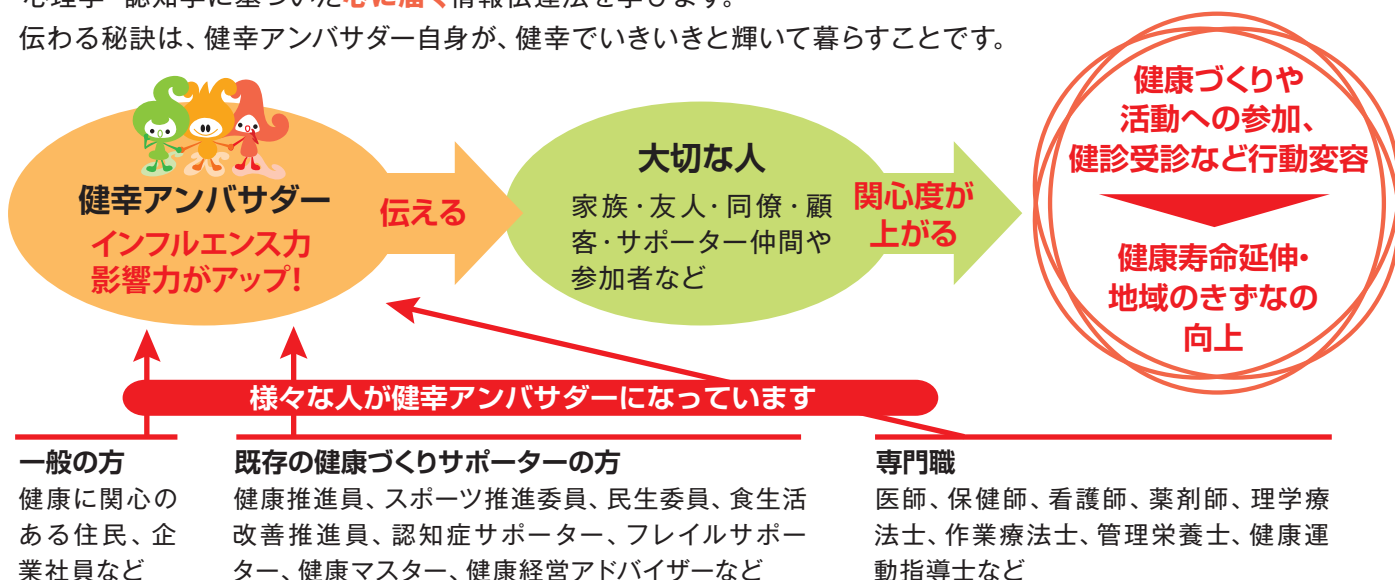


各種健康施策や健康サービスの情報は
関心層にしか届いていませんでした。

地域コミュニティを活用した口コミによる情報提供が、無関心層のヘルスリテラシーを向上させ、行動変容のきっかけになります。

「情報を心に届ける伝道師」としてインフルエンサーがアップ 自分自身も周囲の大切な人も健幸に!

心理学・認知学に基づいた**心に届く**情報伝達法を学びます。
伝わる秘訣は、健幸アンバサダー自身が、健幸でいきいきと輝いて暮らすことです。



一般の方
健康に関心のある住民、企業社員など

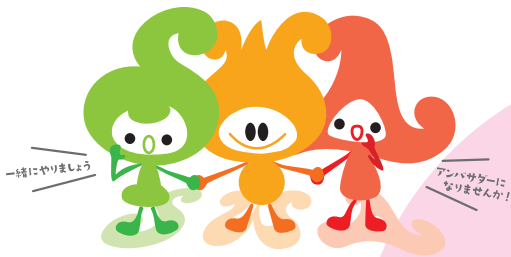
既存の健康づくりサポーターの方
健康推進員、スポーツ推進委員、民生委員、食生活改善推進員、認知症サポーター、フレイルサポーター、健康マスター、健康経営アドバイザーなど

専門職
医師、保健師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、健康運動指導士など

口説き力、コミュニケーション力、社会貢献意識、自己効力感、ヘルスリテラシーの向上

社会全体の幸福に役立っています

～健康度の向上だけでなく、地域経済も活性化～



健幸アンバサダーの“嬉しい!”

- 正しい知識を得て自身の健康も向上!
- 周囲の親しい人の幸福に役立てた
- 社会参加につながり、生涯の生きがいに!
- 意識が上がることで健康産業への参加が増え、ますます健康に!

健幸アンバサダー認定証が授与されます



自治体の“嬉しい!”

- 住民のヘルスリテラシーが向上!
- 今まで参加したことのない住民が多数参加
- 厚生労働省保険者努力支援制度(国保)「個人への分かりやすい情報提供」加点事業

共通して

- これまで健康づくりに無関心であった人のヘルスリテラシーも向上
- 「健幸アンバサダー通信」を、健康関連イベントや健診等の情報と一緒に配信する事で行動変容の相乗効果が期待できる



企業の“嬉しい!”

地域住民サービスを提供する企業では

- 自治体と連携できる
- 人を大切にする企業として、企業イメージもアップし、ブランド力もアップ!
- 来店者・顧客の増加

健康経営を推進する企業では

- 社員やその家族のヘルスリテラシーが向上し、健康経営の効果が高まった

健幸アンバサダーになることによって、顧客との対話が増え、業務へのモチベーションも高まります。

自治体・企業間の共同事業のアピールは、企業参画の促進につながると同時に、既存委員などのモチベーションや既存事業の効果向上にも役立ちます。

自治体では

- 職員はじめ、健康推進員、食生活改善推進員の研修として実施。知識とモチベーションがアップし、施策効果が向上。
- ウォーキングイベント参加者数が2.6倍に増加。そのうち約4割は、健幸アンバサダーからの口コミで参加。
- 健康づくり事業や運動教室参加者、健診受診者が増加。

全国に健幸の輪が広がっています

地域住民や健康関連企業に所属する方、さらには学生や子ども、養成講座を受けて全国各地で健幸アンバサダーとして活躍しています。



アンバサダーのステッカーを貼った移動販売の運転手の方も健幸アンバサダーとなって地域で活躍中!



大学のカリキュラムとして健幸アンバサダーの養成を行い、「健幸アンバサダー通信」を作成しました。

健幸アンバサダーになるためには

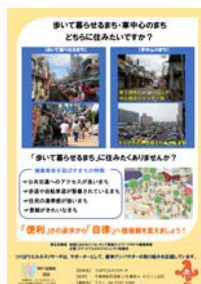
募集方法の例 官民連携モデルの場合

自治体と企業の連携で
新規参加者の開拓が期待できます



健幸アンバサダーには定期的に「健幸アンバサダー通信」が届きます!

最新の正確な情報を分かりやすく
心に届く情報にしてお届けします。
(認証委員会で審査し質を担保します)



協賛団体名も掲載されます

カリキュラムの例

内容 約180分
開会の挨拶
健幸アンバサダー紹介動画
講義 1 健幸アンバサダーの使命と役割
<ul style="list-style-type: none"> 日本の課題と現状 健幸アンバサダーの制度について
講義 2 最新健幸情報
<ul style="list-style-type: none"> 健幸都市とは 生活習慣病予防とがん予防 サルコペニア予防と筋力トレーニングなど
講義 3 心に届く健幸情報の伝え方
<ul style="list-style-type: none"> 心に情報を届ける具体的会話術 伝える技術 伝えるときのポイント
講義 4 情報提供を実践してみよう
<ul style="list-style-type: none"> 情報提供方法の具体例(動画) 情報提供の実技
認定書授与
閉会の挨拶

各地での健幸アンバサダーの活躍をご紹介します



漁協のスーパーの一角で仲良し二人組で筋トレと運動の大切さを伝えています

健幸アンバサダーの声
 今まで健康についての講演会にはいろいろ行ったけど、行動に移したのは初めてです。寝たきりになる人を一人でも減らしたいという夢があります。運動嫌いだったけど、これならできる、やらなきゃと思いました。(西伊豆町)



大切な人だからこそ
 お互いに



親しいお友達に(見附市)



薬局の店頭で「健幸アンバサダー通信」を使ってアドバイス(スギ薬局)

健幸アンバサダーの声
 お客様の皆さんから興味深く聞いていただけますし、そのあとも「やってみたよ!」「良かったよ」と仰っていただくと、お伝えして良かったなと嬉しく感じます。自分自身もしっかり実践して、一緒に健康になっていけたらな、と思っています。
 (第一生命保険)



生命保険のお客様に



運動だけでなく栄養なども
 皆さん興味深く
 聞いていただけます

スポーツクラブで



参加企業の声

私たちのビジネスの中だけでなく、より多くの方に、運動と健康の大切さを知って運動を始めていただき、健康な日本を作るために役立ちたいと積極的に取り組んでいます。産官学連携して草の根的に運動習慣者を増やしていくことは大変価値があることだと思っています。
 (カーブスジャパン)

手ごたえある活動が、確実な成果につながっています

成果

- 1 1人あたりの情報伝達回数 **12.4回/年**
- 2 情報を伝えた相手が情報に興味を持った割合 **66.2%**
- 3 無関心層のうち、相手が行動を変えてくれそうな割合 **59.4%**

つくばウェルネスリサーチ(2022)

広がる健幸アンバサダー活動

『キッズ健幸アンバサダー』も活躍中!

子どもたちから、家族やおじいちゃん・おばあちゃんなど、身近で大切な人に『健幸』情報を伝える伝道師として活躍しています。

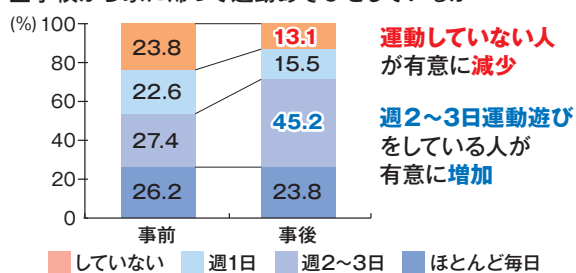


みんな楽しく、生活習慣病や運動について学びました。

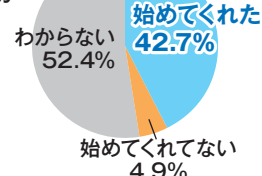
最後は認定証の授与で
キッズ健幸アンバサダーに就任!



■学校から家に帰って運動あそびをしているか



■情報を伝えた相手は運動を始めてくれたか

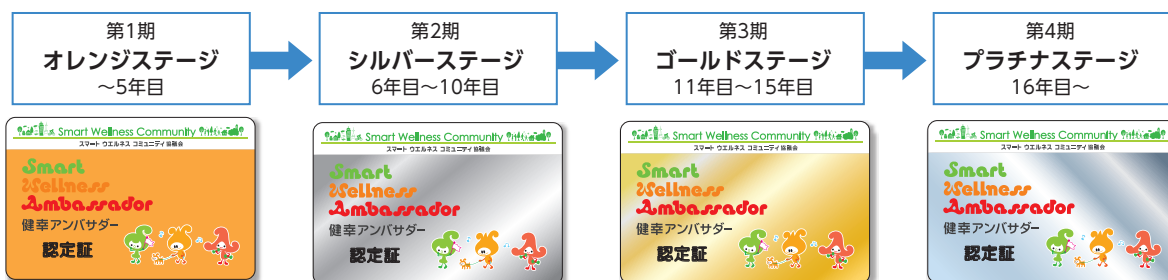


■運動の大切さを誰に伝えたか

- 1位 おかあさん
- 2位 おとうさん
- 3位 おばあちゃん
- 4位 きょうだい
- 5位 おじいちゃん
- 6位 ともだち

つくばウエルネスリサーチ (2022)

~健幸アンバサダーの皆さんをフォローする体制を整えています~
皆さんの参加をお待ちしています!



ホームページで
健幸アンバサダーの
活動を紹介しています



<https://www.ambassador.or.jp/>

これまでの
健幸アンバサダー通信や
説明動画をすべて見れる
マイページ機能も

健幸アンバサダー

検索

e-ラーニングでも
学習できます



健幸都市のありがたやコミュニティの重要性などもりだくさん!パソコン、スマートフォン、タブレットでご覧いただけます。

健幸アンバサダー公式ホームページより受講できます。インターネット受講の所要時間は約2時間で、講座の中断や再開も可能です。

健幸アンバサダー

検索

ステップアップ
のための
フォローアップ講座も
開催

学びながら活動を楽しく続けていただくために、講習や各地の事例の紹介を行う場などを準備しています。



健幸アンバサダー参画団体を募集しています。まずはお気軽に資料を御請求下さい。

《お問い合わせ・資料の御請求はこちら》

スマートウエルネスコミュニティ協議会 健幸アンバサダープロジェクト事務局 (つくばウエルネスリサーチ)

Mail : ambassador@twr.jp TEL:04-7197-2360

令和7年度から 65歳以上の方などを対象に 带状疱疹ワクチンの 定期接種を実施します。



定期接種の対象・接種する方法・費用

〈対象〉定期接種の対象は以下の方です。

対象者は年度によって異なるため、接種の機会を逃さないようにご注意ください。

①年度内に65歳を迎える方

②60～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

注1) 令和7年度から5年間の経過措置として、その年度に70、75、80、85、90、95、100歳になる方も対象となります。

注2) 令和7年度に限り、100歳以上の方は全員対象となります。

〈ワクチンを接種する方法と費用〉

定期接種はお住まいの(住民票のある)市町村(特別区を含む)で実施されます。

ワクチンを接種できる医療機関や費用、申し込み方法などについては、お住まいの市町村にお問い合わせください。

带状疱疹は、痛みを伴う皮膚の病気です

■带状疱疹は、水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って、痛みを伴う水疱(水ぶくれ)が現れる皮膚の病気です。

■合併症の一つに、皮膚の症状が治った後にも痛みが残ることがあり、日常生活に支障をきたすこともあります。



带状疱疹ワクチンは2種類あります

■带状疱疹ワクチンには2種類あり、接種方法や、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

◎ワクチンの特徴

	生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK社)
接種方法	皮下に接種	筋肉内に接種
接種回数と間隔	1回	2回(2か月以上の間隔をあける)※
接種条件	病気や治療によって、 免疫の低下している方は接種できません	免疫の状態に関わらず接種可能

(※) 病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮できます。

◎帯状疱疹に対するワクチンの予防効果

	生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK 社)
接種後1年時点	6割程度	9割以上
接種後5年時点	4割程度	9割程度
接種後10年時点	—	7割程度

注 帯状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割以上と報告されています。

◎ワクチンの安全性

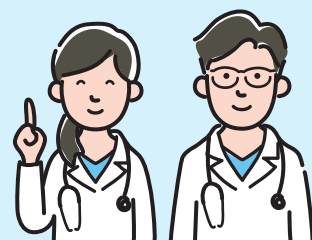
- ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。
- 頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

主な副反応の発現割合	生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK 社)
70%以上	—	疼痛※
30%以上	発赤※	発赤※、筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感※、熱感※、腫脹※、疼痛※、硬結※	頭痛、腫脹※、悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感※、倦怠感、その他の疼痛

(※)ワクチンを接種した部位の症状 各社の添付文書より厚生労働省にて作成

◎他のワクチンとの同時接種について

- 帯状疱疹ワクチンは、医師が特に必要と認めた場合に、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン等と同時接種が可能です。
- 生ワクチンについては、他の生ワクチンとは27日以上の間隔を置いて接種してください。



予防接種健康被害救済制度があります

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

制度の利用を申し込むときは、予防接種を受けたときに住民票を登録していた市町村にご相談ください。

帯状疱疹ワクチンについてもっと詳しく知りたい方はこちら

厚生労働省ホームページ



2025年2月